

第2章 環境に配慮した生活【問3～問7】

1 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望【問3】

【全体の状況】

多少値段が高くても再生可能エネルギーを利用した電力を購入したいと思うか尋ねたところ、「購入したいと思う」が29.1%であった。

一方、「購入したいと思わない」は、17.7%であった。(図表2-1-1)

図表2-1-1 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望



【地域別の状況】

地域別にみると、「購入したいと思う」は、横須賀三浦が43.3%で最も多かった。

一方、「購入したいと思わない」は、県央(22.3%)と湘南(20.4%)がともに2割を超えた。

(図表2-1-2)

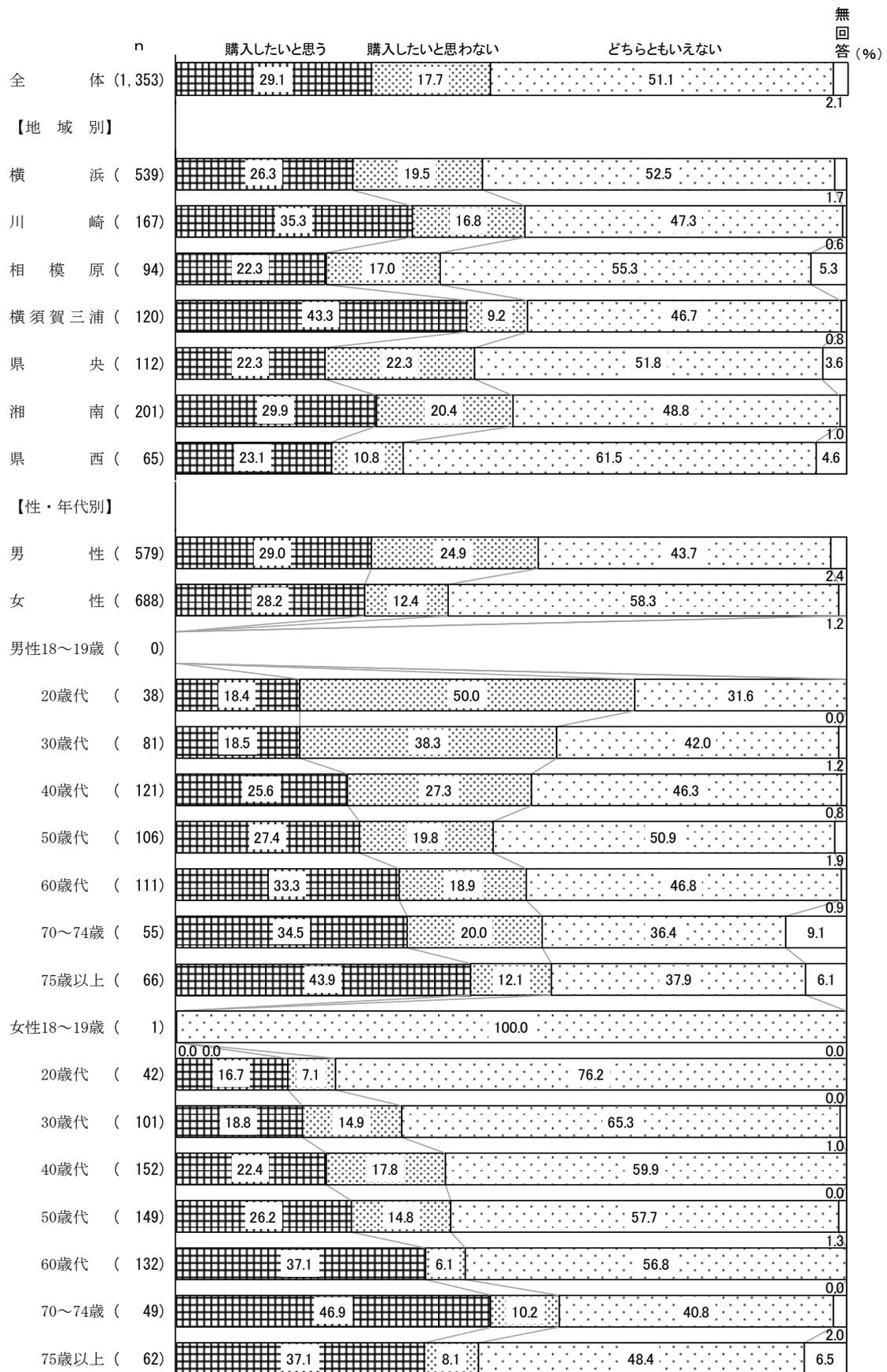
【性・年代別の状況】

性別にみると、「購入したいと思わない」は、男性(24.9%)が女性(12.4%)を12.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、「購入したいと思う」は、男性の75歳以上(43.9%)と女性の70～74歳(46.9%)がともに4割台であった。

一方、「購入したいと思わない」は、男性の20歳代が50.0%で最も多かった。(図表2-1-2)

図表2-1-2 再生可能エネルギーを利用した電力の購入希望－地域別、性・年代別



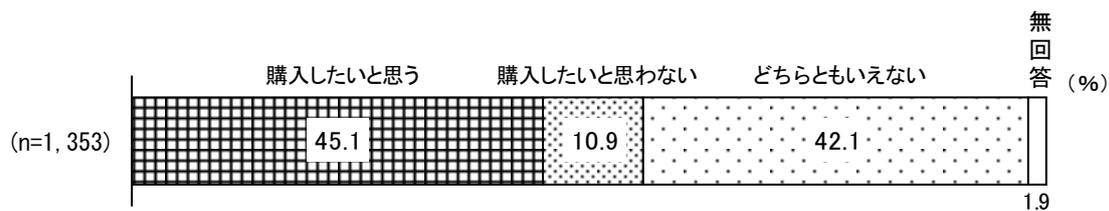
2 環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望【問4】

【全体の状況】

多少値段が高くても有機栽培など環境にやさしい方法で作られた農作物を購入したいと思うか尋ねたところ、「購入したいと思う」が45.1%であった。

一方、「購入したいと思わない」は、10.9%であった。（図表2-2-1）

図表2-2-1 環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望



【地域別の状況】

地域別にみると、「購入したいと思う」は、川崎（50.3%）と横須賀三浦（50.0%）がともに5割以上であった。

一方、「購入したいと思わない」は、横須賀三浦（7.5%）と県西（9.2%）を除く5地域（10.2%～14.3%）でそれぞれ1割を超えた。（図表2-2-2）

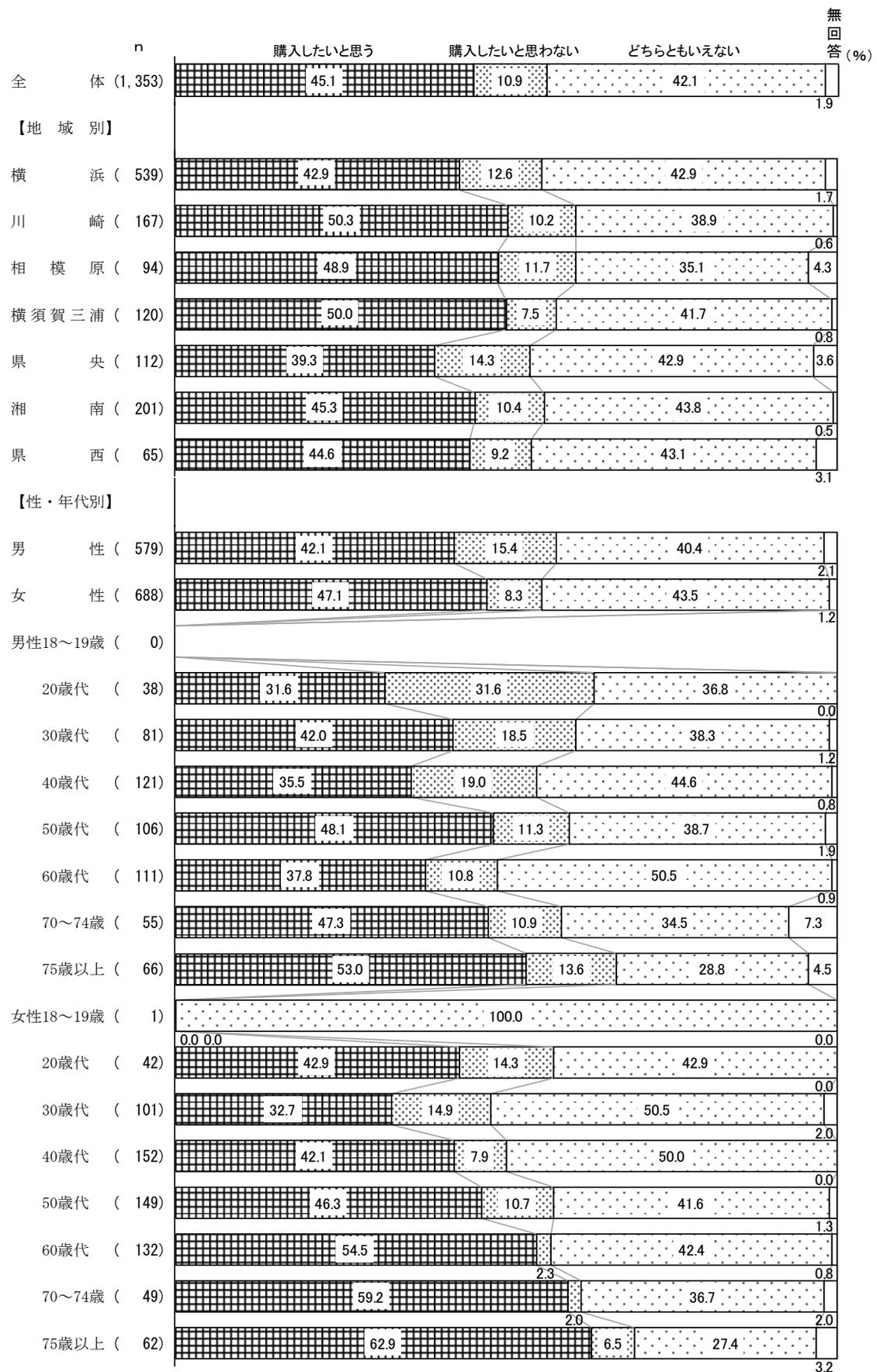
【性・年代別の状況】

性別にみると、「購入したいと思わない」は、男性（15.4%）が女性（8.3%）を7.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、「購入したいと思う」は、女性の75歳以上が62.9%で最も多かった。

一方、「購入したいと思わない」は、男性の20歳代が31.6%で最も多く、男性の30歳代（18.5%）・40歳代（19.0%）が約2割で続いた。（図表2-2-2）

図表2-2-2 環境にやさしい方法で作られた農作物の購入希望－地域別、性・年代別



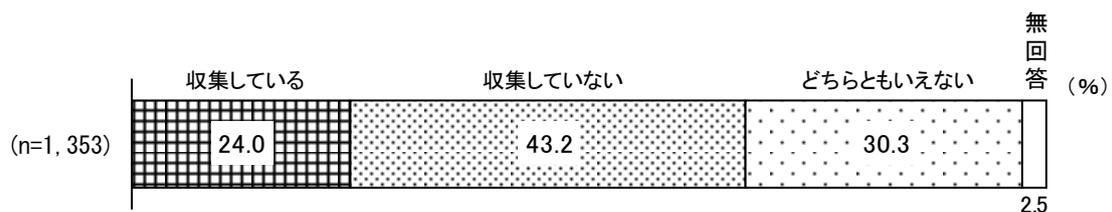
3 環境問題の情報収集の有無【問5】

【全体の状況】

興味のある環境問題について情報を収集しているか尋ねたところ、「収集している」が24.0%であった。

一方、「収集していない」は、43.2%であった。(図表2-3-1)

図表2-3-1 環境問題の情報収集の有無



【地域別の状況】

地域別にみると、「収集している」は、横須賀三浦が32.5%で最も多かった。

一方、「収集していない」は、相模原が56.4%で最も多く、県央(45.5%)と湘南(45.3%)が続いた。(図表2-3-2)

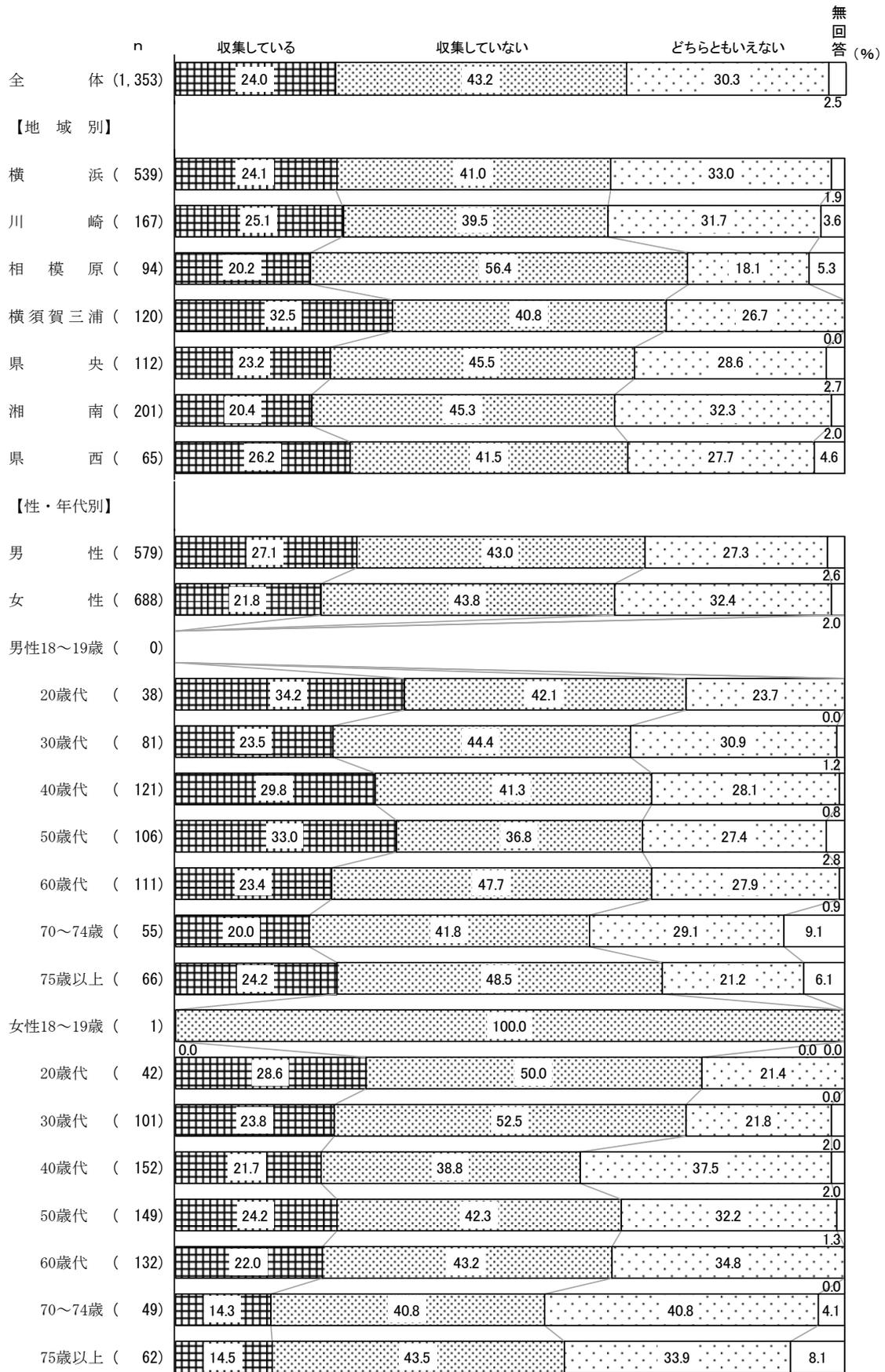
【性・年代別の状況】

性別にみると、「収集している」は、男性(27.1%)が女性(21.8%)を5.3ポイント上回った。

性・年代別にみると、「収集している」は、男性の20歳代が34.2%で最も多く、次いで男性の50歳代が33.0%であった。

一方、「収集していない」は、サンプル数の少ない女性の18~19歳を除くと、女性の20歳代(50.0%)・30歳代(52.5%)がともに5割以上であった。(図表2-3-2)

図表2-3-2 環境問題の情報収集の有無—地域別、性・年代別



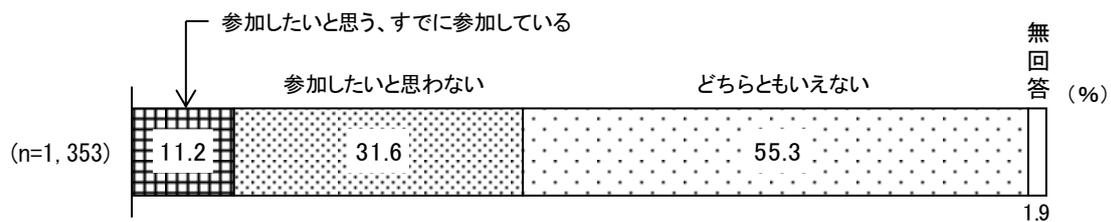
4 NPO等が行っている環境保全活動への参加希望【問6】

【全体の状況】

NPO等が行っている環境保全活動に参加したいと思うか尋ねたところ、「参加したいと思う、すでに参加している」が11.2%であった。

一方、「参加したいと思わない」は、31.6%であった。（図表2-4-1）

図表2-4-1 NPO等が行っている環境保全活動への参加希望



【地域別の状況】

地域別にみると、「参加したいと思う、すでに参加している」は、相模原が17.0%で最も多かった。

一方、「参加したいと思わない」は、相模原が35.1%で最も多く、次いで県央が34.8%であった。

（図表2-4-2）

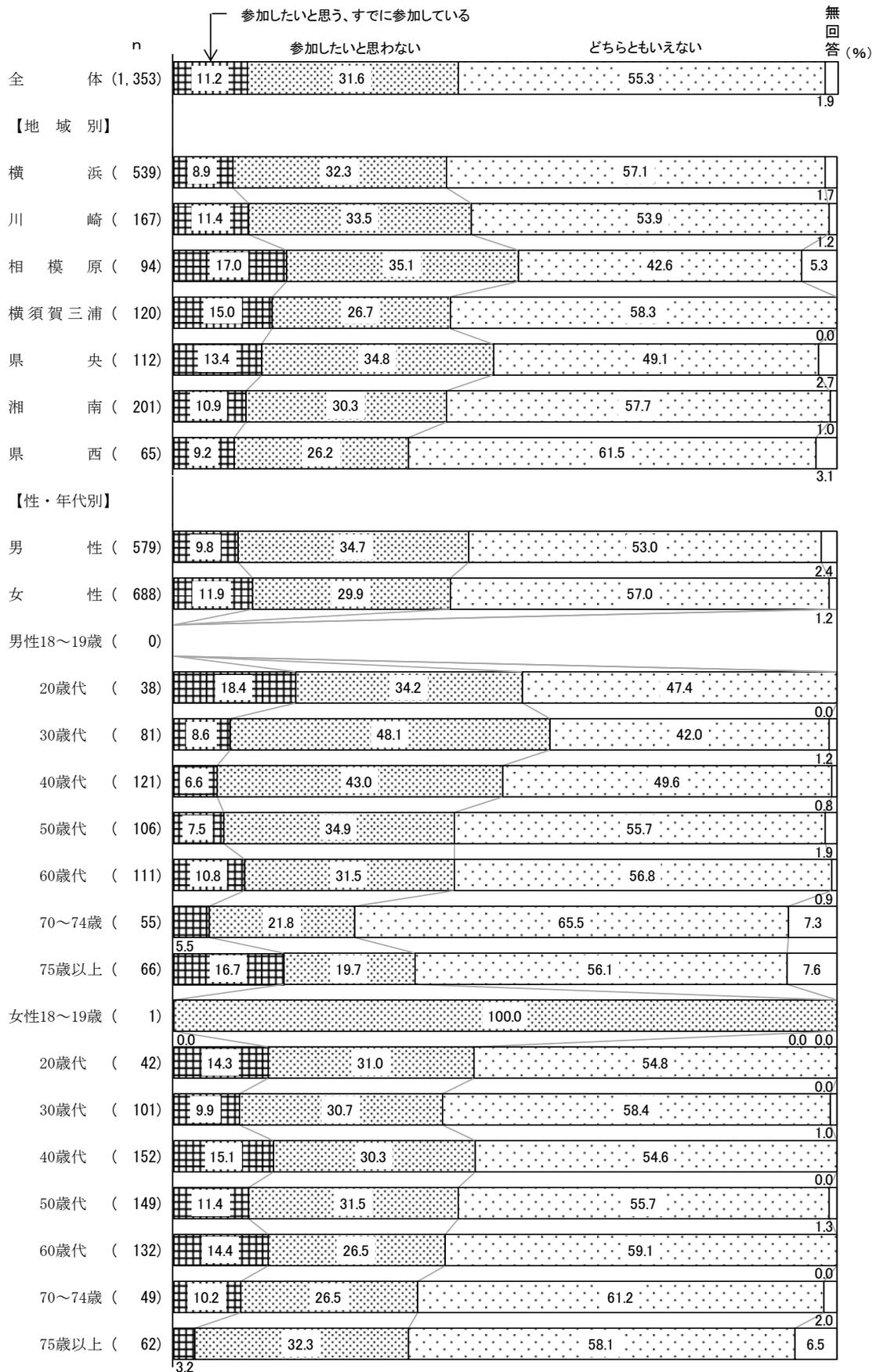
【性・年代別の状況】

性別にみると、「参加したいと思わない」は、男性（34.7%）が女性（29.9%）を4.8ポイント上回った。

性・年代別にみると、「参加したいと思う、すでに参加している」は、男性の20歳代が18.4%で最も多かった。

一方、「参加したいと思わない」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、男性の30歳代（48.1%）・40歳代（43.0%）がともに4割を超えた。（図表2-4-2）

図表2-4-2 NPO等が行っている環境保全活動への参加希望—地域別、性・年代別



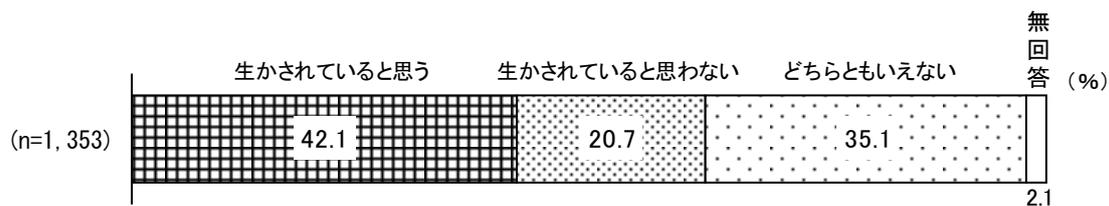
5 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献【問7】

【全体の状況】

企業等の持つ技術力が、地球温暖化などの環境問題の解決に生かされていると思うか尋ねたところ、「生かされていると思う」が42.1%であった。

一方、「生かされていると思わない」は、20.7%であった。(図表2-5-1)

図表2-5-1 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献



【地域別の状況】

地域別にみると、「生かされていると思う」は、川崎と県央が45.5%で最も多く、横浜（44.2%）と相模原（43.6%）が4割台で続いた。

一方、「生かされていると思わない」は、相模原が23.4%で最も多く、次いで湘南が22.9%であった。(図表2-5-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「生かされていると思わない」は、男性（24.0%）が女性（17.9%）を6.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、「生かされていると思う」は、男性の20歳代（55.3%）・50歳代（50.9%）がともに5割を超えた。

一方、「生かされていると思わない」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、男性の70～74歳が29.1%で最も多く、次いで男性の60歳代が27.9%であった。(図表2-5-2)

図表2-5-2 企業等が持つ技術力の環境問題解決への貢献—地域別、性・年代別

